

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年10月11日(2012.10.11)

【公表番号】特表2010-538117(P2010-538117A)

【公表日】平成22年12月9日(2010.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2010-049

【出願番号】特願2010-523044(P2010-523044)

【国際特許分類】

C 08 L 101/02 (2006.01)

C 08 K 3/08 (2006.01)

C 08 L 67/00 (2006.01)

【F I】

C 08 L 101/02

C 08 K 3/08

C 08 L 67/00

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月22日(2011.8.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1つ以上の酸素捕捉基を有し、少なくとも0.2の分枝の程度である酸素捕捉樹状ポリマーと、

酸化触媒と、

を含む組成物の1層以上の層を備える物品。

【請求項2】

前記樹状ポリマーが少なくとも約0.7の分枝の程度を有する、請求項1に記載の物品。

【請求項3】

前記樹状ポリマーが、ポリアミド、ポリエステル、ポリエーテル、ポリオレフィン、ビニルポリマー、ポリイミン、ポリシロキサン、ポリウレタン、ポリチオエーテル、ポリアリールアルキレン、ポリシラン、ポリカーボネット、ポリスルホン、ポリイミド、ポリエスチルイミド、ポリエステルアミド、これらの混合物、又はこれらのコポリマーを含む、請求項1又は2に記載の物品。

【請求項4】

前記樹状ポリマーがポリエステルを含む、請求項1～3のいずれか一項に記載の物品。

【請求項5】

前記酸素捕捉基が、少なくとも1つの炭素-炭素二重結合を有する有機基、メタキシレンジアミンの反応生成物である有機基、又はこれらの混合物を含む、請求項1～4のいずれか一項に記載の物品。

【請求項6】

前記組成物が熱可塑性組成物を含む、請求項1～5のいずれか一項に記載の物品。

【請求項7】

前記物品が包装物品を含む、請求項1～6のいずれか一項に記載の物品。

【請求項8】

複数の酸素捕捉基を有し、少なくとも 0 . 2 の分枝の程度である酸素捕捉樹状ポリマーと、

100 ~ 1,000 ppm の、遷移金属、遷移金属の錯体、光開始剤、又はこれらの混合物を含む酸化触媒と、

を含む組成物。

【請求項 9】

酸素捕捉基が、少なくとも 1 つの炭素 - 炭素二重結合を有する有機基を含み、樹状ポリマーのヨウ素価が 10 ~ 200 である、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の物品。